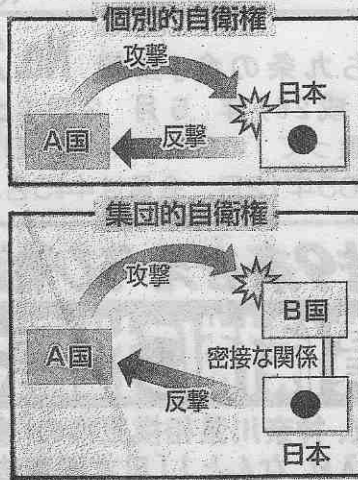




《会員の声》

■「早大教授の水島朝穂氏の憲法観を、いつも納得しながらネットや著作で読んでいます。例えば、「もし集団的自衛権を理由に、アメリカ(B国)と戦うA国に日本が反撃したら、それはA国にとって



日本が先制攻撃をしたことになり、A国が日本にどんな報復をしてもいい口実を与えてしまうことになる。集団的自衛権を主張している政治家はそこまで考えているのか」の意見に全く同感です。安倍も石破さんも想像力がなく、軍事だけの盲目に陥っています」(郡山市・40代男性)

■「一生懸命、九条の会を支持してきました。体調が悪くなりましたが、生きているうちは脱会しません。頑張ります。安倍政権は命よりお金が大事なんですね。」(原町区・70代女性)

■「私たち横浜市旭区九条の会でも、はらまち九条の会の「憲法」小冊子を真似させていただきました、『憲法手帳』としてこの度出来上がりました。」(横浜市旭区若葉台九条の会・50代女性)

■「私は「憲法」小冊子を事務局から100冊買い、関東各地の報告会などで配っていますが、ポケット版で大変好評です。」(埼玉県に避難・60代男性)



《事務局より》

◆左の「憲法」小冊子は1971(昭和46)年、当時の市民団体「原町市憲法を守る会」の大先輩

たちが、旧原町市に働きかけて発行されました。「憲法」には、「憲法」全条、「旧教育基本法」、そして昭和26年制定の「児童憲章」全12条が掲載され、その卓見ぶりに驚かされます。原発事故の一番の犠牲者は子どもたちです。「教育勅語」などは言語道断。今こそ「児童憲章」の精神に立ち返りたいものです。

◆南相馬市視察の報告会で、川崎市の方々(代表小磯摩耶子さん)より多大なカンパを本会に戴きました。心より感謝申し上げます。

《「はらまち九条の会」事務局連絡先》

- 会長: 平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326
- 事務局長: 山崎健一(神奈川県に避難中) TEL090-7527-5453 Eメール: yamazakiken1@gmail.com
- 会計: 井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
- 番場恵子 TEL0244-22-0715 ○ホームページ担当: 大浦祥見 TE0244-24-0704

請戸小や鈴木安蔵生家に案内

■「様々な方が、被災地相馬双葉地区の案内をしています。私も県九条の会や各団体からの依頼で、一昨年から全国各地の人々、九条の会員、憲法学者らを30団体以上、約1,800人を南相馬市小高区や浪江町に案内しています。小高区では鈴木安蔵生家やJR小高駅駐輪場、村上海岸、浪江町請戸では事故原発を遠望し、迅速な避難で子どもたちが救われた請戸小学校、時間が止まったままの浪江町内、今も牛を飼い続ける希望の牧場などを説明。皆さん、本当に熱心に見学されています。大震災や原発事故を風化させないために頑張りましょう。」

(小高区村上・原町区に避難・志賀勝明さん) 自衛隊員の自殺の多さに驚く

■「海上自衛隊員のいじめ自殺裁判の新聞を読んでいたら、自衛隊員の自殺者が04年は94人、07年度以降は毎年80人前後、昨年度は76人もいて、本当に驚きました。

また、自民党石破茂さんが「もし自衛隊員が出動命令に従わない場合は死刑や無期懲役など重い罰則で服従させるべきだ」と言っていました。私は母親として背筋が凍りました。集団的自衛権で自衛隊員がもし地球の裏まで出かけアメリカと一緒に戦争したら、隊員になる人はいなくなります。安保と少子化はリンクしているのに、と野田聖子自民党総務会長が批判してます。」(原町区・60代女性)

◆5月3日の『東京新聞』『朝日新聞』全国版には、「憲法を守ろう・集団的自衛権は戦争への道」の市民意見広告が、見開き2ページで大きく掲載されました。本会の名前も協賛団体として載っていますが、会員や知人のお名前もたくさん見受けられました。



- 江 林径子 林賢二 林さか枝 林幸枝 林圭子 羽山治美 羽山美智子 原昭午 原崇雄
- はらまち九条の会 バリアフリー・ネットワーク
- ピース9L ピース9北広島 ピース9グループ
- 東浦孝次 東久留米「九条の会」 東田弘子